平成 30 年 10 月 4 日

各　位

会 社 名　　ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　髙柳　浩二
（コード：8028　東証・名証第一部）

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 30 年４月 11 日に発表しました平成 31 年２月期第２四半期（累計）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。尚、配当予想につきましては、前回発表から変更ございません。

１．業績予想の修正について

（１）平成 31 年２月期第２四半期（累計）連結業績予想の修正（平成 30 年３月１日～平成 30 年８月 31 日）

	営業収益	事業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的１株当たり四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	645,100	42,500	37,800	22,500	177.82
今回修正予想（Ｂ）	641,000	49,500	48,500	30,000	237.09
増減額（Ｂ－Ａ）	△4,100	7,000	10,700	7,500	
増減率（％）	△0.6%	16.5%	28.3%	33.3%	
（参考）前期第２四半期実績（平成 30 年２月期第２四半期）	633,636	41,959	33,997	22,367	176.64

（２）修正の理由

第２四半期連結累計期間におきまして、事業利益では、主にコンビニエンスストア事業（ＣＶＳ事業）において、サークルＫサンクスからファミリーマートへのブランド転換店舗の日商が好調に推移していることに加え、不採算店舗の閉鎖に伴い販売管理費の削減が計画以上に進んだこと等により、当初計画を上回る見通しです。税引前利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましても、事業利益の増加に加え、総合小売事業（ＧＭＳ事業）における香港事業の売却益の計上等により、前回発表の連結業績予想を大幅に上回る見通しです。

なお、平成 31 年２月期通期の連結業績予想につきましては、ＣＶＳ事業における什器及び情報システム機器の一部前倒し導入による費用を見込んでおり、現時点では平成 30 年４月 11 日に発表しました業績予想に変更はありません。

（参考）平成 31 年２月期連結業績予想（平成 30 年３月１日～平成 31 年２月 28 日）及び前期連結実績

	営業収益	事業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的１株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
当期連結業績予想（平成 31 年２月期）	1,270,200	77,300	67,100	40,000	316.12
前期実績（平成 30 年２月期）	1,275,300	66,250	28,639	33,656	265.82

（注）上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は要因により大きく異なる可能性があります。

以 上